

五個荘地区社会福祉協議会 独居高齢者見守り訪問聞き取りアンケート結果

1 対象者

●五個荘地区社協で実施している、見守り訪問事業の対象である75歳以上の一人暮らし高齢者。

(1)全自治会数	27自治会
(2)事業実施自治会数	18自治会
(3)事業実施率	67%
(4)見守り訪問対象者数	133名
(5)回答数	117名
(6)回答率	88%

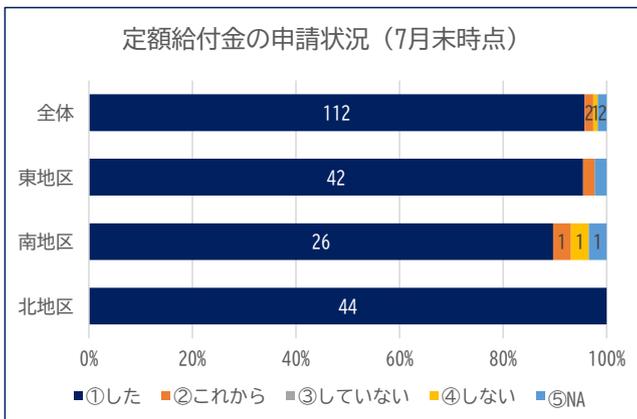
2 実施方法と実施時期

●令和2年7月に実施した見守り訪問活動時に以下の8つの事項について、自治会長、民生委員、福祉委員等が聞き取りを行った。（訪問・聞き取り者は自治会によって異なる。）

3 結果

1. 特別定額給付金の申請について

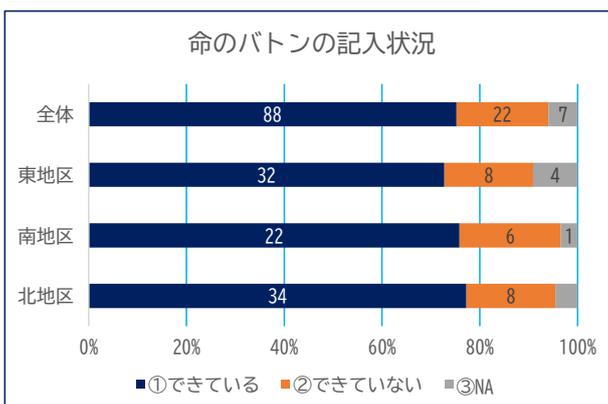
	①した	②これから	③していない	④しない	⑤NA	計
全体	112	2	0	1	2	117
比率	96%	2%	0%	1%	2%	100%
東地区	42	1	0	0	1	44
南地区	26	1	0	1	1	29
北地区	44	0	0	0	0	44



○特別定額給付金は**96%**の方が**申請した**と回答している。
 ○回答者のうち1人が申請しないと回答している。
 ○中には自動振り込みと誤って、このアンケートによって申請することを知ったという方もいた。

2. 「命のバトン」の記入について

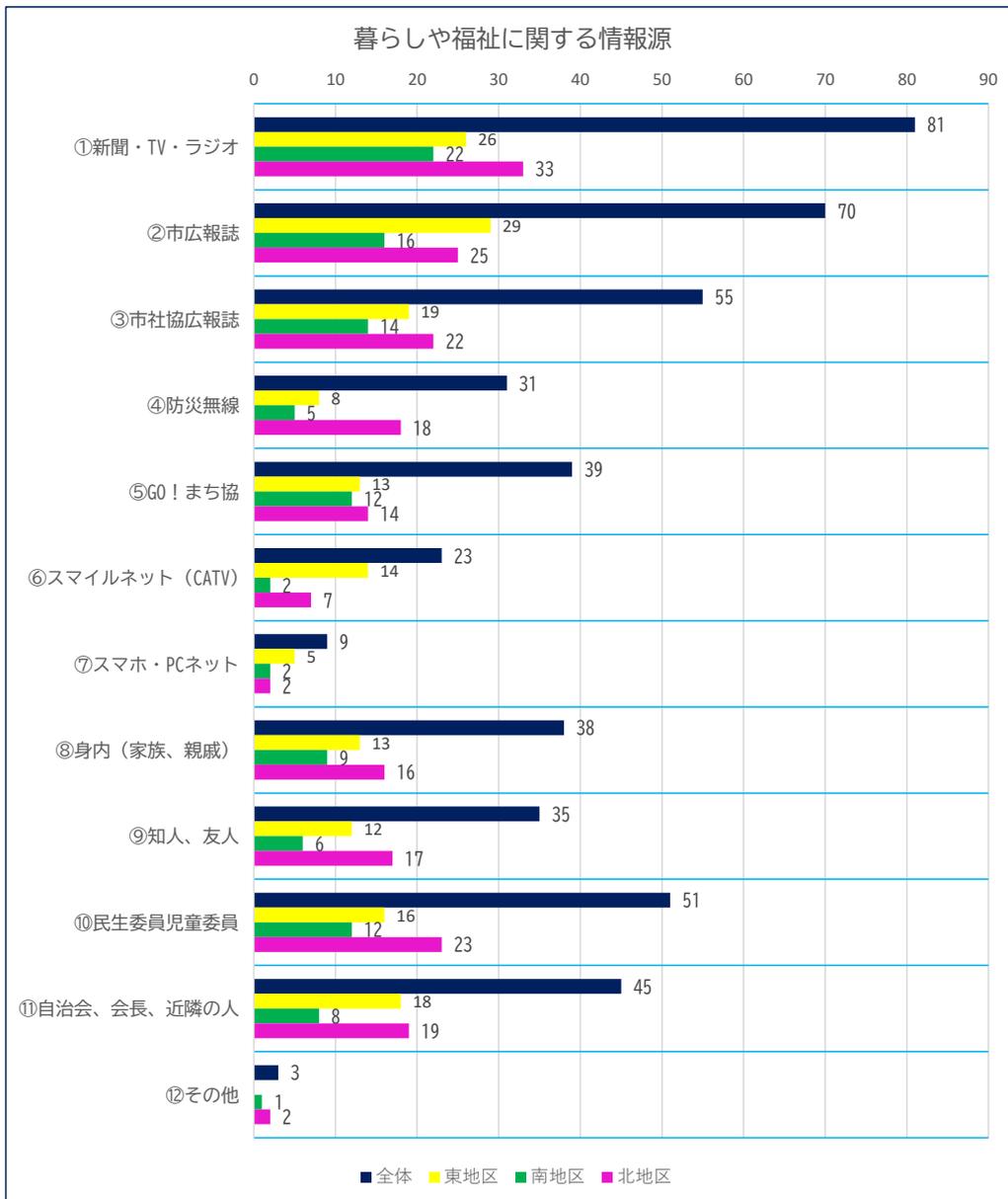
	①できている	②できていない	③NA	計
全体	88	22	7	117
比率	75%	19%	6%	100%
東地区	32	8	4	44
南地区	22	6	1	29
北地区	34	8	2	44



○「命のバトン」に記入する情報を「**更新できている**」と回答した方は**75%**である。

3. 暮らしや福祉に関する情報源

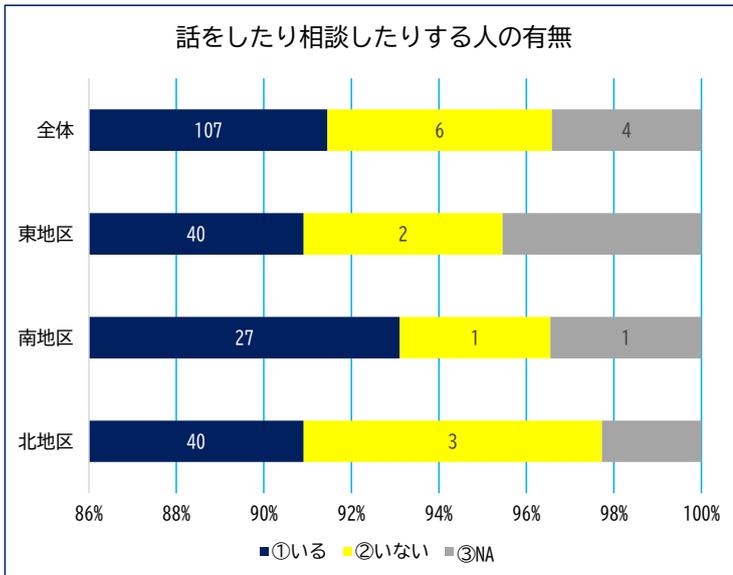
	①新聞・TV・ラジオ	②市広報誌	③市社協広報誌	④防災無線	⑤GO!まち協	⑥スマイルネット (CATV)	⑦スマホ・PCネット	⑧身内 (家族、親戚)	⑨知人、友人	⑩民生委員児童委員	⑪自治会、会長、近隣の人	⑫その他
全体	81	70	55	31	39	23	9	38	35	51	45	3
東地区	26	29	19	8	13	14	5	13	12	16	18	0
南地区	22	16	14	5	12	2	2	9	6	12	8	1
北地区	33	25	22	18	14	7	2	16	17	23	19	2



- 普段、暮らしや福祉に関する情報を何で知るか複数回答で聞いたところ、「**新聞、テレビ、ラジオ**から」が**81人**で最も多く、回答者の**69%**であった。
- 次いで、「**市の広報誌**から」が**70人 (60%)**、「**市社協の広報誌**から」が**55人 (47%)**であった。
- また、「**民生委員・児童委員**から」が**51人 (44%)**で4番目に多く、「**自治会、自治会長、近隣の人**から」が**45人 (38%)**で5番目に多かった。
- 最も少なかったのは「**スマートフォンやパソコンのインターネット**から」で**5人 (4%)**であった。

4. 話をしたり相談したりする人

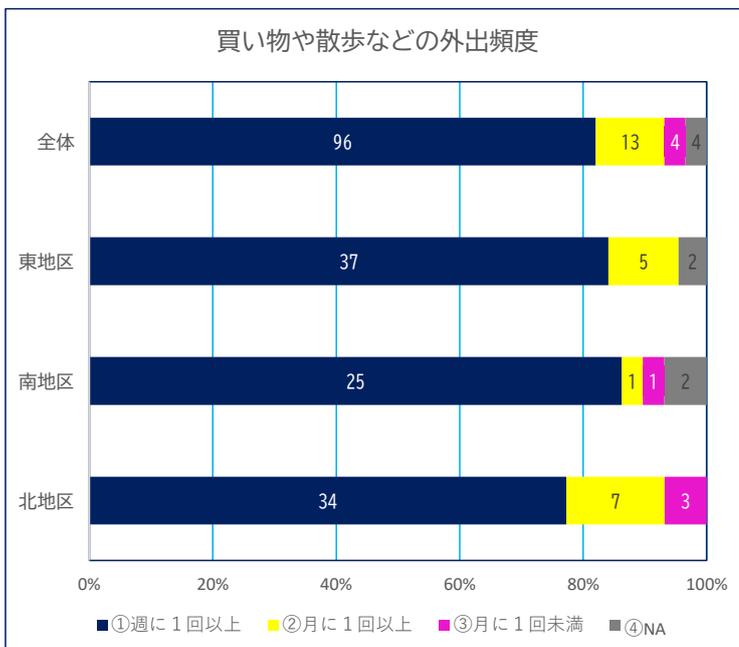
	①いる	②いない	③NA	合計
全体	107	6	4	117
比率	91%	5%	3%	100%
東地区	40	2	2	44
南地区	27	1	1	29
北地区	40	3	1	44



○普段、気軽に話をしたり相談したりする人がいるかどうかを聞いたところ、「いる」と回答した方は**107人**で全体の**91%**であった。
 ○反対に「いない」と回答した方は**6人**で全体の**5%**であった。
 ○なお、無回答は4人あった。

5. 買い物や散歩などの外出

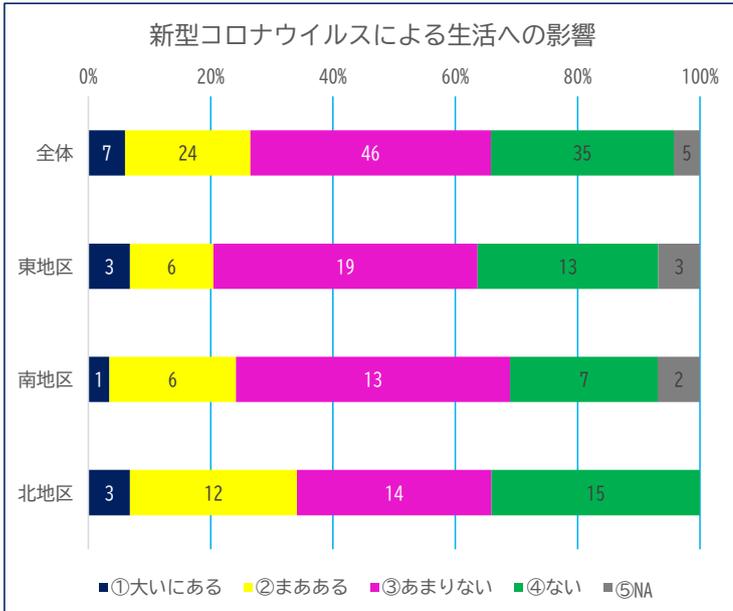
	①週に1回以上	②月に1回以上	③月に1回未満	④NA	合計
全体	96	13	4	4	117
比率	82%	11%	3%	3%	100%
東地区	37	5	0	2	44
南地区	25	1	1	2	29
北地区	34	7	3	0	44



○最近、買い物や散歩などの外出をしているかどうかを聞いたところ、「週に1回以上」外出していると回答した方は**96人**で全体の**82%**であった。
 ○「月に1回未満」と回答した方は**4人**で全体の**3%**であった。
 ○無回答の方も4人あった。

6. 新型コロナウイルスの影響

	①大いにある	②まあある	③あまりない	④ない	⑤NA	合計
全体	7	24	46	35	5	117
比率	6%	21%	39%	30%	4%	100%
東地区	3	6	19	13	3	44
南地区	1	6	13	7	2	29
北地区	3	12	14	15	0	44



○新型コロナウイルスによる生活への影響を聞いたところ、「あまりない」が46人(39%)で最も多く、次いで「ない」が35人(30%)であった。

○「あまりない」と「ない」を合わせると約7割の方は影響を(それほど)受けることなく生活していることになる。

○一方、「大いにある」と答えたのは7人(6%)であり、具体的には病院の面会ができないことや手洗い、嗽といった生活習慣への大いなる影響を受けたという内容であった。

○「まあある」と回答したのは24人(21%)であり、その内容を大別すると外出や他人との会話の機会の減少といった社会参加とマスクの着用や検温、消毒といった生活習慣に関するものであった。

○「大いにある」と「まあある」を合わせると約3割の方は何らかの影響を受けていることになる。

【「大いにあった」の内容】

- ・病院の面会
- ・手洗い、嗽は忘れずするようになった。

【「まああった」の内容】

- ・集会に行けなかった。
- ・買い物に出られなかった。
- ・ふれあいがなくなり寂しかった。
- ・出る機会が減った
- ・今まで通り話ができない。
- ・外食の中止
- ・運動ができなかったため筋肉が落ちた。
- ・サークル活動
- ・外での運動、ゲートボール活動。大会が中止になった。
- ・外出をしなくなった
- ・県外に遊びにいけない。
- ・マスク、消毒が大変。
- ・朝の検温
- ・マスク、除菌
- ・マスクが息苦しく辛い
- ・どれだけ感染予防をしても怖い。

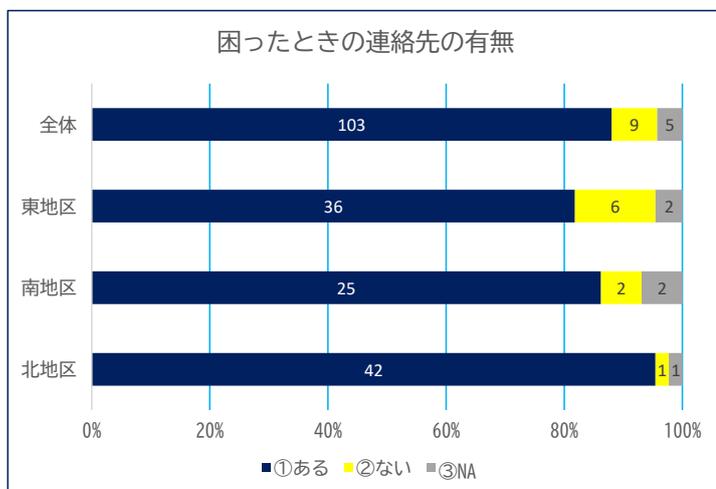
7. 現在の困りごと

・介護について
・ヘルパーさんにもっときてほしい。
・コロナで事業所が休所して困る。
・ゴミ捨て
・膝の痛み。身体が思うように動かない。
・寄合が少なくなった。足が悪く不便。
・足が不自由
・町内の人と会話する機会がなくなった（サロン等）
・高齢のため車の使用が心配。書類が来たとき字が小さく読めない。
・気が弱くなり連絡できないときは不安。（娘が毎日安否確認してくれる）
・今後のこと

○現在の困りごとを自由回答で聞いたところ、11名の方から回答があった。
○その内容は、①介護や介護サービスに関すること、②ゴミ捨て、③健康状態、④今後の不安といった事項に大別される。

8. 困ったときの連絡先の有無

	①ある	②ない	③NA	合計
全体	103	9	5	117
比率	88%	8%	4%	100%
東地区	36	6	2	44
南地区	25	2	2	29
北地区	42	1	1	44



○困ったときの連絡先の有無について聞いたところ、連絡先が「ある」と答えた方が103人（88%）であった。
○一方「ない」と答えた方は9人（8%）であった。